

良き広報担当 ～ 相互の理解を深める ～

2023 年 5 月 18 日 順天堂大学——>新渡戸稲造記念センター ——>東京女子大学の理事会に向かった。今回、【大学の教授の選考の基準は、『純度の高い専門性と社会的包容力』の兼ね備えた人物だろ！ 大学内に『良き広報担当=21 世紀の知的協力委員会』の設置（12 名の教員、職員）も大切であろう！】が鮮明に脳裏に蘇った。まさに、【『多角的な性格から 現れ出づる多面的な観察と識見』（新渡戸稲造：1862-1933）で思い切った改革の時】ではなかろうか！

最近、全国で高大連携が推進されている。【受験生にとって、どのような大学を目指し、どのような学問を専攻するか。人生をも左右する重大な決断です。—— そうしたさまざまな受験生を支援するため、大学や高校が連携して取り組んでいるのが『高大連携』というしくみです。—— 『高大連携』とは、まさしく『高校』と『大学』が連携する取り組みをいいます。それぞれの教員が交流し、ネットワークを構築して相互の理解を深めていくことを目指しています。高校、大学は同じ教育機関ではありますが、基礎的な学力を育む高校と専門性を推し進める大学では、性質が大きく異なります。】と HP には謳われている。 恵泉女学園も、順天堂大学、東京女子大学との高大連携が決定され『高校生向け公開講義』、『出張講義』も企画されるようである。

順天堂大学医学部教授から送られてきた図（画像）を観られ【『先生抜きでは語れなくなってますね！』（シマエナガ 濱口洋子氏）& 樋野興夫先生の『われ 21 世紀の新渡戸とならん』の本も、順天堂大学の医学部でも必読書ですね！（オカメインコ:瀬戸真知子氏）】との心温まる励ましのメールを頂いた。 南カリフォルニアメディカルカフェ代表の石嶋眞理子氏からは【『がん哲学外来の絶対性大原理』：愛がなければ全ては無意味に～ 改めて心に刻みました。日々各地を廻られて、とても積極的なご活躍に、いつも勇気をいただいています。南カリフォルニアのメディカルカフェも丸 2 年を無事に通過して、初心を思い出すことの大切さを痛感しています。今、必要とされる方に、カフェの場を開いておくことが何にもまして大切ですね！】とのメールを頂いた。 大いに感動した。



新渡戸稲造

宗教なしに道徳を学ぶのか—  
ベルギーの法学者に問われて  
英文書「Bushido」を著す。

日本人の伝統的な道徳観の支柱を  
「武士道」に求め、その源泉を神道、  
仏教、儒教のなかに探った。



武士道は本学の学是「仁」と根源を  
ひとつにする。

矢内原忠雄訳



アラビア語訳  
(1938)



「武士道」の原本  
(1900年)

